

鳥取県地域医療介護総合確保基金

鳥取大学医学部附属病院

在宅医療推進のための看護師育成プログラム

I 在宅生活志向をもつ看護師育成コース

【基礎2年次】

令和6年度 I 在宅生活志向をもつ看護師育成コース

「基礎2年次」

- 【目的】 病院看護師が在宅生活志向に基づいた入退院支援を実践できる。
- 【目標】
1. 患者の入院前・退院後の生活について必要な情報を得てアセスメントし、その人にあった入退院支援を実践できる。
 2. 適切な入退院支援をするために多職種と連携できる。

令和6年度 I 在宅生活志向をもつ看護師育成コース

≪基礎2年次≫

集合研修とHOCノートによる個人課題で行います。

第 4 回 集 合 研 修	日 時	● A : 令和6年6月20日 (木) / B : 令和6年6月27日 (木) ・当日オンデマンド視聴 : 13時00分 ~ 14時00分 ・グループ討議 (対面60分) : 14時00分 ~ 15時00分
	会 場	鳥取大学医学部記念講堂
	ね ら い	在宅生活志向に必要な知識の確認ができる。
	研修内容	○講 義 (オンデマンド視聴 (45分~60分) 各施設で事前視聴、又は当日会場にて視聴) 「退院後の生活を見据えた看護活動と在宅療養に必要な資源 ~介護保険・医療保険の仕組み~」 ○グループ討議 (対面60分) 「事例を基にどのようなサービス・指導が必要か考える」
	講 師	<small>こやま まさみ</small> ◇ 小山 雅美 : 真誠会医療福祉連携センター センター長
課 題	HOCノート P.18~19 を記入	

＊個人課題⑥ : 受け持ち患者への退院支援インタビュー (1事例目)

個 人 課 題 ⑥	<p>あなたが受け持って退院支援を行った患者 (チームで関わった患者) が退院後に、①外来に来られた際、②退院支援カンファレンス参加、③退院前家庭訪問のいずれかで退院後の生活を聞いて、自分の行った退院支援について振り返りを行ってください。</p> <p>この課題は入院時からの関わりが必要ですので、所属部署の管理者 (看護師長など) に課題の目的を説明し、協力を得るようにしてください。</p> <p>インタビューは2事例行いますが、HOCノートの提出は1事例ずつ提出です。</p>	
	ね ら い	退院支援を行った受け持ち患者より、実際に退院してからの生活・受講生の退院支援の内容を再確認することができる
	1 事例目	HOCノート P.20~21 を記入

第5回 集合 研修	日 時	A : 令和6年9月19日 (木) / B : 令和6年9月20日 (金) ・当日オンデマンド視聴 : 13時00分 ~ 14時00分 ・グループ討議 (対面60分) : 14時00分 ~ 15時00分
	会 場	鳥取大学医学部附属病院 会議室3, 4 (第二中央診療棟2階)
	ね ら い	入院中より担当看護師、新生児集中ケア認定看護師、退院支援専任看護師らが訪問看護師、保健師、地域の行政機関等と連携した退院支援に取り組み、母親と顔の見える関係を築き安心した退院へと繋げている。その実践を紹介し退院支援の具体的方法、担当看護師役割を明確にする。
	研修内容	○講 義 (オンデマンド視聴 (45分~60分) 各施設で事前視聴、又は当日会場にて視聴) 「退院後の生活を見据えた病院看護師と訪問看護師の連携」~新生児・小児編~ ○グループ討議 (対面60分) 「在宅療養を支援する担当看護師としての役割~多職種との連携を図って~」
	講 師	◇安達 香奈 : 鳥取大学医学部附属病院 新生児集中ケア認定看護師 ◇服部 由香 : 鳥取大学医学部附属病院 医療福祉支援センター
課 題	HOCノート P.22~23 を記入	

第14回 T-HOC 特別 セミナー	日 時	令和6年9月28日 (土) 10時00分 ~ 15時00分
	会 場	伯耆しあわせの郷 (倉吉市小田458)
	ね ら い	T-HOC 受講生と総合診療医、医学生および看護学生、地域の行政が対話し、地域における医療従事者の専門性や医療看護の現状・課題を理解し、相互に連携できる関係づくりを目指す。
	研修内容	パネルディスカッション、ワークショップ
	講 師	パネリスト 門脇 智尋 : 訪問看護ステーション博愛 作埜 吉美 : 訪問看護ステーションほんわか 中原 裕子 : 訪問看護ステーションせいわ 報告 安住 朋代 : 鳥取県ナースセンター コーディネータ 提言 井上 和興 : 大山診療所/鳥取大学医学部地域医療学講座

※中間評価

自己 評価	ね ら い	受講生が自己評価をする (10点評価)
	評 価	HOCノート P.31 を記入

***個人課題⑦：受け持ち患者への退院支援インタビュー（2事例目）**

個人課題⑦	ねらい	退院支援を行った受け持ち患者より、実際に退院してからの生活・受講生の退院支援の内容を再確認することができる
	2事例目	HOCノート P.24~25 を記入

受け持ち患者への退院支援インタビュー後の意見交換会	日時	A：令和6年11月 日（ ）13時30分～15時 B：令和6年11月 日（ ）13時30分～15時
	会場	鳥取大学医学部附属病院 会議室3, 4 （第二中央診療棟2階）
	ねらい	受け持ち患者への退院支援インタビューを実施後、他の受講生と情報交換し、実施できている点と課題となることを明確にすることができる。
	研修内容	○グループ意見交換 退院支援をした患者から「外来受診時の対応」「退院支援のカルパス参加」「退院前・退院後家庭訪問」等で聞き取った内容より自分の行った退院支援を振り返る 今後退院支援を行う上での自分自身の課題を見つける
	参加者	受講生所属先の地域連携担当者 ◇鳥取県立中央病院 ◇博愛病院 ◇尾崎病院 ◇日野病院 ◇鳥取県立厚生病院 ◇日南病院 ◇米子医療センター ◇岩美病院 ◇鳥取大学医学部附属病院
課題	HOCノート P.26~27 を記入	

***まとめ ～このコースを通して～**

個人課題⑧	ねらい	2年間の学びと今後の課題を明確にする
	課題	HOCノート P.28~29 を記入

※2年間を通しての評価

自己評価	ねらい	受講生が自己評価をする（10点評価）
	評価内容	HOCノート P.31 を記入

第15回T-HOC特別セミナー	日時	令和7年3月 日（ ） 10時30分～12時50分
	会場	鳥取大学医学部 記念講堂
	内容	テーマ（未定） 講師（未定）

Iコース（2年次）に関するページは下記のQRコードから確認してください。➡

